

第3学年 英語科学習指導案

日 時 令和元年 10 月 25 日(金) 5 校時
場 所 糸満市立 西崎中学校 3 年 1 組
男子 15 名 女子 22 名 計 37 名
授業者 有銘 眞吾

1 単元名 Lesson5 Stevie Wonder – The Power of Music (TOTAL ENGLISH 3)

2 単元の目標

- (1) まとまりのある文章を読んで、その概要を捉える。 【外国語理解の能力】
(2) 分からない語句があっても、前後の単語や文脈などから意味を類推して読む。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
(3) 関係代名詞（主格）を用いた文の構造を理解する。 【言語や文化についての知識・理解】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、ヒロがラジオでスティービー・ワンダーの特集番組を聞くという設定である。スティービー・ワンダーの半生を追いながら、彼の生い立ちや才能、人生の転機、平等な世界作りへの働きかけや功績などが紹介されている。本教材は文章のあらすじや大切な部分、登場人物の行動や心情の変化などを
読み取ることに適した教材であり、まとまりのある文章からその概要を捉える力を育むことができると
考
える。

本単元を通して、まとまりのある文章を読んで、その概要を捉える力を育みたい。Lesson 2 では、英文を読むことに慣れさせるために、読みやすい内容の英文を読み、その内容をペアで伝え合う「ミニ・リーディング」を帯活動として取り入れた。また教科書本文の内容理解を深めるためにペアによる「リテリング」にも取り組んだ。本単元でもこれまで学習してきたことを活用し、さらに「リーディング・パ
ズル」や「ピクチャー・マッチング」などの方法で本文の概要を読み取らせることや、読み取った内容
に
対する感想を伝え合う活動などを通して、単元の目標に迫っていきたい。

(2) 生徒観

本学級は全体的に素直で、落ち着いて学習できる雰囲気がある。定期テストでも常に学年平均を上回
っ
ており、学習意欲が高い学級である。4 月は英語でのやり取りを恥ずかしがる生徒も多くいたが、ペア
活

語 動などを繰り返し行うことで、ほとんどの生徒が意欲的に活動に参加することができている。一方で英語力には個人差が大きく、英語に対して苦手意識を持つ生徒が若干名いることやペーパーテストでの理解度は高いが、英語での発言や発表、やり取りを苦手とする生徒も少なくない。しかし、今年度導入された全国学力・学習状況調査（英語）の「読むこと」における平均正答率は46.5%で県平均から4%、全国平均から9%下回っており、課題がある。

また、授業やテストの感想から「長文読解の問題が出てきた時点で読む気がしない」「英文を読んでいる時、分からない単語が1つ出てくると混乱する」などがあり、「逐語読みから脱却し、まとまりのある文章を読んでその概要を捉える力を育成する」ことが課題としてあがった。その課題への手立てとして、やり取りやQ&Aによる本文理解、生徒の学力を考慮したペアでのリーディング活動、概要や重要なポイントだけを読み取るワークシートの工夫などを行ってきた。本単元でも「読むこと」に焦点を当てて活動を行っていくが、「(3) 指導観」で述べるような指導の工夫を行い、本時の目標および単元の目標に迫っていきたい。

(3) 指導観

本校では、CAN-DO リストを活用し、その単元で身につけたい力を明確にして授業を進めている。本単元では、外国語理解の能力「読むこと」に焦点を当て、授業改善にいかしていきたい。

新学習指導要領外国語科の目標に、「簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること」と示されている。また、「読むこと」の領域の具体的な目標として、『イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。』とある。それらを踏まえ、本校においては「読むこと」における CAN-DO リストの学習到達目標を以下のように設定した。

「読むこと」	
卒業時	実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について簡単な語句で書かれたものから必要な情報を読み取ったり、概要や要点を捉えたりすることができる。
本校の各学年学習到達目標 ※情報を読み取る・概要を捉える部分のみ抜粋	
3 学年	○簡単な語句で書かれたまとまりのある手紙や説明などを読んで、その内容に対する自分の考えもちながら、その要点を把握できる。
2 学年	○短い手紙や簡単な物語などを読んで、必要な情報を得たり、そのあらすじを理解できる。

1 学年	○5～6 文程度の自己紹介文などを読んで、自分が知りたい情報などを読み取ることができる。
------	--

本単元では、「まとまりのある文章を読んで、その概要を捉える力を育む。」ことを目指す。そのため

本単元の指導において、以下の工夫をする。

【指導の工夫】

- ①第1時に単元目標を確認し、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれることなく、文章全体を読み通すことでその概要を捉えることの重要性を伝える。また単元学習計画を示すことで、生徒が見通しを持って学習できるようにする。
- ②帯活動に「ミニ・リーディング」を取り入れ、書かれている内容の概要を捉えるようにする。
- ③バラバラになった本文を時系列で整理する「リーディング・パズル」を通して、あらすじを読み取る力を育てる。
- ④読み取った内容に対する感想をペアで伝え合う活動を通して、本文におけるキーワード、登場人物の行動や心情の変化などを読み取らせることで、概要を捉えさせる。
- ⑤読み取った内容と合う正しい絵を複数枚の中から選ぶ「ピクチャー・マッチング」など、読み取った情報を違う形に変える「Information-transfer activities (ITAs)」の活動やワークシートを取り入れ、本文の概要を捉えさせる。
- ⑥読み取った内容を自分の言葉でペアに伝える「リテリング」を取り入れることで、内容理解を深める。

4 評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解	評価方法
分からない語句があっても、前後の単語や文脈などから意味を類推して読んでいる。	話す	書く	読む	ア. 活動の観察 ウ. 単元テスト (第7時) エ. 後日、定期テスト
			まとまりのある文章を読んで、その概要を捉えることができる。	

5 単元の指導と評価計画 (9時間)

時	○ねらい	・学習活動	評価	評価方法
---	------	-------	----	------

		規準	
1	<p>○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 『まとまりのある文章を読んで、その概要を捉える（文章のあらすじや大切な部分、登場人物の行動や心情の変化などを読み取る）ことができる。』</p> <p>・本単元で身に付ける技能や目標を知る。</p> <hr/> <p>○関係代名詞（主格 who）の文構造を理解する。</p> <p>・帯活動「ミニ・リーディング①」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>① 1分程度で読める文章を読む。 ② ペアにどう伝えるか考える。 ③ 自分の言葉でペアに内容を伝える。</p> </div> <p>・教師の Small Talk から本時の目標文の意味を推測する。 ・関係代名詞（主格 who）の文構造を学習する。 ・Activity 「Who's this?」を行う。 ※ペアで互いに異なった9つの人物を説明し、当てあう。 ・著名人について書かれた短い文を読み、職業や出身地、功績などを読み取る。（ITA ワークシート） ・自己評価と本時を振り返る。</p>	エ	後日、定期テスト
2	<p>○関係代名詞（主格 which）の文構造を理解する</p> <p>・帯活動「ミニ・リーディング②」を行う。 ・教師の Small Talk から本時の目標文の意味を推測する。 ・関係代名詞（主格 which）の文構造を学習する。 ・Activity 「What's this?」を行う。 ※ペアで互いに異なった9つの物を説明し、当てあう。 ・オリジナルクイズを作成し、ペアで出題しあう。 ・作成したオリジナルクイズをグループで読みあう。 ・自己評価と本時を振り返る。</p>	エ	後日、定期テスト
3	<p>○関係代名詞（主格 that）の文構造を理解する。</p> <p>・帯活動「ミニ・リーディング③」を行う。 ・教師の Small Talk から本時の目標文の意味を推測する。 ・関係代名詞（主格 that）の文構造を学習する。 ・身の回りの人や物について、簡単な紹介文や説明文を書く。 ・クラスメートが書いた紹介文や説明文をグループ内で読みあう。 ・自己評価と本時を振り返る。</p>	エ	後日、定期テスト
4 本時	<p>○本文前半（5A, 5B）の概要を捉える。</p> <p>・Warm up “What's this?”を行う。 ・Oral Introduction でスティービー・ワンダーについて想像を膨らませる。 ・リーディング・パズルを行う。</p>	ア	活動の観察

	<ul style="list-style-type: none"> ※ペアで協力し、本文を正しく並べ替えることで本文のあらすじを捉える。 ・ペアで本文を読んでの感想を伝え合う。 ・ワークシートで本文の概要を確認する。 ・自己評価と本時を振り返る。 		
5	<ul style="list-style-type: none"> ○本文後半 (5C, 5D) の概要を捉える。 ・本文前半 (5A, 5B) の写真を見せ、物語を思い出させる。 ・リーディング・パズルを行う。 ※ペアで協力し、本文を正しく並べ替えることで本文のあらすじを捉える。 ・ピクチャー・マッチングを行う。 ※読み取った内容と合う正しい絵を複数枚の中から選ぶ。 ・ワークシートで本文の概要を確認する。 ・自己評価と本時を振り返る。 	ア	活動の観察
6	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元で学習した内容を振り返る。 ・帯活動「ミニ・リーディング④」を行う。 ・関係代名詞主格 (who, which, that) の文構造を確認、整理する。 ・本文全体を通して読み、その概要を確認する。 ・本文全体をペアで「リテリング」する。 		
7	<ul style="list-style-type: none"> ○単元テストに取り組む。 ※文章の概要を捉える力を測るため、教科書本文と同レベルのまとまりのある文章を使った英文読解の問題を出題する。 	ウ	単元テスト

6 評価方法

A: 「十分満足できる」 B: 「おおむね満足できる」 C: 「努力を要する」

ア. 分からない語句があっても、前後の単語や文脈などから意味を類推して読んでいる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(1) 評価方法

第4時、第5時の「本文の概要を捉える」の活動において、観察を行う。

(2) 評価の決定

- ・前後の単語や文脈などから意味を類推して読む意欲や態度が見られる場合、「十分に満足できる」状況 (A) とする。
- ・読む意欲や態度が全く見られない場合、「努力を要する」状況 (C) とする。

(3) 「努力を要する」状況 (C) と判断される生徒に対しての手立て

- ・生徒が理解している語句や文脈を確認し、それをもとに類推する方法を助言する。
- ・辞書や本文の流れをイラストで表したヒントシートを活用して、概要を捉えさせる。

ウ. まとまりのある文章を読んで、その概要を捉えることができる。 【外国語理解の能力（読むこと）】

(1) 評価方法

第9時の単元テストで評価する。

(2) 評価の決定

文章の概要を捉える力を測るため、教科書本文と同レベルのまとまりのある文章を使った英文読解

の問題を出題し、その正答率によって判断する。

85%以上を、「十分に満足できる」状況（A）とする。

45%未満を、「努力を要する」状況（C）とする。

(3) 「努力を要する」状況（C）と判断される生徒に対しての手立て補習を行い、再テストを実施する。

7 本時の展開（第4時）

過程	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 10分	<p>① あいさつをする。</p> <p>② Warm up “What’s this?” お互いに異なった9つの単語を説明し、ペアで当てあう。</p> <p>③ Oral Introduction ペアでの簡単なやり取りでスティービー・ワンダーについて想像を膨らませる。</p> <p>①Teacher’s Talk ②生徒間による簡単なやり取り</p>	<p>○活動後、生徒の英文を全体でシェアすることで他のモデルとする。</p> <p>○生徒の好きな音楽を話題に取り上げる。</p>	

	<p>③スティービー・ワンダーの曲と写真の紹介</p> <p>4 本時のめあてを確認する。</p> <p><u>スティービー・ワンダーの物語（前半）を読んで、大まかな内容を読み取ることができる。</u></p>		
展開 30分	<p>5 リーディング・パズル（ペア活動） バラバラになった本文を並べ替える。 ①並べ替え活動。（ヒント無し→ヒント有り） ・既習の単語や文脈などから本文の内容をつかみ並べ替える。 ②リスニングによる解答を行う。 ③教師とのやり取りで、内容をつかむ。</p> <p>6 本文を読んだ感想を伝えあう。 ①本文の状況や場面の絵が複数枚、描かれているヒントシートの中から、重要だと思う絵（場面）を選ぶ。 ②選んだ絵（場面）と感想を英語で、ペアに伝える。 ③全体で考えをシェアする。</p>	<p>○分からない語句があっても、前後の単語や文脈などから意味を類推して読むように助言する。</p> <p>○机間指導で個別指導をする。</p>	ア. 活動の観察
まとめ 10分	<p>7 本文の概要を確認する。</p> <p>8 本時の授業を振り返り、自己評価シートに記入する。</p> <p>9 次時の予告を聞く。</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○めあてがどの程度達成できたかを考えさせながら、記入させる。</p>	

Today's Goal スティービー・ワンダーの物語（前半）を読んで、大まかな内容を読み取ることができる。

Friday, October 25th

Today's to do

- Warm up
- Small Talk
- Goal
- Reading
- Pair Talk
- Worksheet
- Reflection



I think picture () is important.
Because ().

生徒がその絵を選んだ理由を書く
Helping people is good. など